

市民参画に係わる市民座談会（第18回）《要旨》

平成24年12月13日（木）午後7時から午後8時30分まで

中央公民館 音楽室

参加者 13人

【市民】岩垣、尾池、大野、坂本、佐野、白石、藤井、前田、宮本、山本

【職員】政策企画室 又賀、浅見 地域づくり支援課 木内

座談会における内容は以下のとおり

1 グループごとの話し合い

①まちづくり	②市民参画全般	③広報・広聴
・岩垣 ・坂本 ・藤井 ・宮本 ・山本	・佐野 (又賀)	・尾池 ・大野 ・白石 ・前田 (浅見、木内)

() 内は、市職員

・グループに分かれて、テーマ等について話し合った。内容は別紙のとおり。

2 次回の座談会について

・平成25年1月10日（木）午後7時から

・場所は、朝霞市役所別館5階第5会議室

市民座談会（第18回）

日時：平成24年12月13日（木）19時～

場所：中央公民館 音楽室

グループ名	① まちづくり（ ）
参加者	岩垣、坂本、藤井、宮本、山本
内容	<p>※要点を箇条書きでまとめてください。</p> <p>○駅前通りから基地跡地までの動線</p> <ul style="list-style-type: none">・バス路線の変更 ⇒ 市役所通りではなく郵便局側へ（認可は大変か？）・駅前通りの電線の地中化 <p>○市庁舎の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none">・移転新築でなく耐震工事とする。・埼玉県庁や岡崎市役所など、新しい方法が色々ある。 <p>○2月の発表に向けて</p> <ul style="list-style-type: none">・市民参画をどう進めていくかの仕組みづくりを考える（条例とは別）・基地跡地広場（朝霞の森）ではうまくできている。・市が案（たたき台）を出すのではなく、市民が白紙からアイデアを出し合えるようになるとよい。 <p>○他市の例</p> <ul style="list-style-type: none">・退職した人たちを対象としたボランティア入門講座・有償ボランティア ⇒ ポイント制（自分が必要になったら使える券など）・地域のバランスを考える必要がある。 <p>※次回の座談会までに、それぞれの考えをまとめる。</p>

市民座談会（第18回）

日時：平成24年12月13日（木）19時～

場所：中央公民館 音楽室

グループ名	②市民参画全般（ ）
参加者	佐野、(又賀)
内容	<p>※要点を箇条書きでまとめてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・市内の団地で、「将来計画委員会準備会」を立ち上げて、町内会活動を活発にしようという動きがある。・このような活動の中から、日頃からのつながりや、防災などの相互扶助の意識が高まれば良いと思う。・「市民参画」を考えた場合、何でもやるというよりは、自分のやりたいことをやったらどうか。・市が主催する講演会などの参加者で、勉強会などのグループができるが、せいぜい2年くらいしか続かない。・人をどのように集めるのか、仕掛けが必要。・例えば、「朝霞の森」の運営について、多くの住民が集まって検討しているが、この集まりをキッカケに地域の公園の運営に活かさないかを考えながらやってもいいのではないか。（市がその道筋を考えてくれたら良い。）・住民は、興味があれば必ず来る。・大事なことは、行政が地域住民と色々な話をして、地域の課題を把握し、地域住民を集めて（そのような機会を市がセッティングして）、地域住民と話をしながら、課題の解決策を探っていけば良いと思う。・市は、そのような機会をどんどん仕掛けるだけでいいと思う。あとは、関心のある地域住民が集まって、考えればいいのではないか。

市民座談会（第18回）

日時：平成24年12月13日（木）19時～

場所：中央公民館 音楽室

グループ名	③広報・広聴（ ）
参加者	尾池、大野、白石、前田、（木内、浅見）
内容	<p>※要点を箇条書きでまとめてください。</p> <p>○広報あさかについて</p> <ul style="list-style-type: none">・全戸配布の可能性・必要性を真剣に考える必要がある。・面白みのない、堅苦しい記事から脱却し、ビジュアルでひきつける工夫（記事の割付、デザインなど）をした上で、読んでもらえるような努力が必要である。・広報紙が届くとパラパラとめくるはず（情報が入る）。・インターネット利用環境にない人のために、活字で情報を伝える必要がある。 <p>○広聴について</p> <ul style="list-style-type: none">・朝霞市は広聴部分が弱い。・パブリック・コメントの活性化（キャッチボール）が必要である。・パブリック・コメントが上手く機能した事例（基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画）を広く周知する。・市も、パブリック・コメントを募集するのであれば、素案を示すだけでなく、説明会や勉強会を開くなどして、市民の理解を深めた上で募集すべきである。 <p>○電子町内会について</p> <ul style="list-style-type: none">・既存の媒体（メディア）を排除するものではなく、プラスアルファするものである。・実施するためには、メディアの貸出が必要である。